

丹後織物

号外

H26. 11. 26

発行所 丹後織物工業組合 京都府京丹後市大宮町河辺 3188 TEL 0772-68-5211 FAX 0772-68-5300

第65回 丹後織物求評会 開幕

経済産業大臣賞に

第1部 後染織物(和装着尺)

『紗織』

有限会社 三徳 (京丹後市網野町)



入賞作品決定!!

丹後織物工業組合では、第65回丹後織物求評会を11月25日(火)～27日(木)の3日間に亘り、京都産業会館コムスホールにて開催。初日の25日は、組合員25業者から出品された158点の作品について審査会が行われた。

審査会では山田純司氏(京都織物卸商業組合副理事長)を審査委員長に、総勢17名の審査員が「後染織物」・「先染織物」の各部門に別れて織技術、市場性、意匠面など細目にわたった厳格な審査が行われた。

その結果、栄えある経済産業大臣賞に後染織物部門から「紗織」(有限会社三徳)が選出されたほか、中小企業庁長官賞に「萌黄(もえぎ)」(松田織物有限会社)、経済産業省製造産業局長賞に「メッシュ 蔓立杵」(江原産業株式会社)と「ちりめん帯揚 経金ヅメ」(有限会社梅徳機業場)、また農林水産省生産局長賞には「横段に水玉」(江原産業株式会社)、近畿経済産業局長賞に「変無地V」(川八工場)がそれぞれ選出されるなど、12賞17点の入賞作品を決定した。(入賞作品および審査総評は次頁のとおり)

消費税増税の影響から消費活動が低迷し、円安によるコストアップも重なり丹後産地も依然として厳しい生産環境にあるが、26日・27日の展示商談会にはメーカー産地として27業者が、『丹後和の技 美伝承』をテーマに、匠の技を結集したものづくり作品及び幅広い分野に向けた未来志向の作品を展示発表する。

また会場内では、暦年の「丹後ちりめんオリジナルきものカレンダー」にて使用された振袖が展示されており、興味を引きそうである。

なお、今回も若手機業グループ「絹友会」によるブース展示、丹後産地と服飾専門学校などがコラボした作品を同時発表している。

入賞作品

経済産業大臣賞	第1部 紗織	(有) 三 徳
中小企業庁長官賞	第2部 萌黄	松田織物(有)
経済産業省製造産業局長賞	第1部 メッシュ 蔓立杵	江原産業(株)
〃	第1部 ちりめん帯揚 経金ヅメ	(有) 梅徳機業場
農林水産省生産局長賞	第2部 横段に水玉	江原産業(株)
近畿経済産業局長賞	第1部 変無地 V	川八工場
京都府知事賞	第1部 風通お召 縫取水玉ぼかし	篠春織物(株)
〃	第1部 紋意匠帯揚 No.2	(株)一色テキスタイル
全日本きもの振興会会長賞	第1部 単衣 市松七宝横段	(株)ワタマサ
京都織物卸商業組合理事長賞	第1部 雪花意匠	田勇機業(株)
日本絹人織織物工業組合連合会理事長賞	第1部 シャル無地 三越	(株)安栄機業場
日本絹人織織物工業会会長賞	第2部 先染織物着尺 立杵サラサ	万定織物(株)
織研新聞社賞	第1部 利休意匠	田勇機業(株)
丹後織物工業組合理事長賞	第1部 東雲木賊ちぢみ	田勇機業(株)
〃	第1部 古代ちりめん 変り織り	(株)安栄機業場
〃	第1部 帯揚 松	丸幸織物(有)
〃	第2部 紋御召 市松格子	(株)ワタマサ

※第1部・・・後染織物 第2部・・・先染織物

《 審査総評 》

第65回丹後織物求評会の開催を心よりお喜び申し上げます。

今年は、丹後産地において様々な波が押し寄せた一年であったと思います。組合員の皆様にとりましては厳しい試練かとは思いますが、乗り越えなければ次の時代はやってこないのではないのでしょうか。

近年の求評会において、時代の流れ、業界の要望に合わせる形で出展作品の傾向が変わってきたように思います。今年はその流れがより鮮明となり、高度な技術を駆使し高いデザイン力を発揮した作品が多く出品され、どれもが丹後の本領である高付加価値商品で、審査するのが楽しくもあり、難しくもありました。

丹後織物工業組合様のますますのご発展と、組合員の皆様のご健勝をお祈りして総評とさせていただきます。